

各部の概要

小学部

小学部では、子どもが「日常生活で、できることを増やしたり、広げたりして、それらを生活の中で生かすことができるようにする」ことをねらいとし、子どもたちの姿をとらえ、将来を見据えて指導に当たっている。

心と体を育てる	身辺自立の基礎を育てる	集団に参加する力を育てる
・あいさつ，返事を通して	・できることを見極めて	・みんなで活動する場をもって
・動きたくなる場面を設定して	・体得するまで繰り返して	・友達とかかわる場面を設定して
・生活にリズムをもたせて	・多くの生活経験を通して	

○ 生活単元学習（ふようタイム）

各教科・領域の指導内容に沿って、実際の生活や学校行事等と密着した学習活動を設定し、生活に生かせる力を総合的に学習する。また、なかよしタイムでは、中学部や高等部の子どもたちと一緒に取り組む遊びや作業を通して、集団行動に慣れさせたり、人とかかわりを育てたりする。

○ 日常生活の指導

各学級とも、朝と帰りの帯学習の時間、月曜日から金曜日の第4校時に日常生活の指導を位置付けている。荷物の整理、衣服の着脱、食事、手洗い、排せつなどの身辺自立ができることめざして実施している。

中学部

中学部では、社会自立の基礎づくりとして、「友達と活動する中で人とのかかわりをもつことができる子」、「自分のことは自分でできる子」を育てることをねらいとしている。また、生活で生かすことのできる資質・能力を習得できるようにするとともに、体験を通して、働く意欲や継続して取り組む力が育つように支援する。

生活で生かせる資質・能力を身につける	継続して取り組む力を育てる	人やものとのかかわりを広げる
・ 一人一人の子どもに合った教材教具を工夫したり、多様な学習集団を編成したりして	・ 生徒会、委員会活動を通して	・ 学校行事や中学部行事，なかよしタイム等を通して
・ 学校行事や中学部行事，ふようタイム（生活単元学習），総合的な学習の時間を通して，	・ 作業学習を通して	・ 領域・教科等の授業を通して

○ グループ別の学習

子どもたち一人一人に合った学習ができるように、国語、数学、職・家、自立活動の授業において、グループ別の学習形態をとる。

○ ふようタイム（生活単元学習）

実際の生活や学校行事と密着した学習活動を通して、生活に生かせる力を实际的・総合的に学習する。また、なかよしタイムでは、小学部・高等部との交流を通して、友達と活動する意識を高める。

○ 総合的な学習の時間

『自然 大好き 自分 大好き』をテーマに、食の大切さや、自分自身の健康、命について考える学習を行う。

○ 作業学習，校内実習，職場体験学習における実習

「クリーニング」，「工芸」のにわかれて作業学習を行う。校内実習では，6月に1週間程度，就労先での勤務により近い形で作業の形態や時間帯を設定し，指導を行う。3年生は，7月に2日間，職場体験実習を各事業所等で行う。

高等部

高等部では、卒業後、社会的にも職業的にも自立できるように、「社会の中で生きる力を身につけるとともに、生活経験を広げ、基礎的な知識を得て、働く意欲や体力を高める」ことをねらいとしている。		
社会に生きる力を伸ばす	働く意欲や体力を高める	社会や人とのかかわりを広げる
・ 日常生活にかかわる内容を学習対象にして	・ 校内実習，職場体験実習，産業現場等における実習を通して	・ 校外学習を実践の場として
・ 学校や高等部の行事，ふようタイム（生活単元学習），総合的な探究の時間を通して	・ 働いた成果の実感を伴う作業学習を通して	・ 教育実習生や介護等体験実習の学生，他校の生徒との交流を通して

○ ふようタイム（生活単元学習）

生活上の課題や学校行事等，実際の生活と密着した学習活動を通して，生活に生かせる力を实际的・総合的に学習する。また，なかよしタイムでは，小学部・中学部との校内交流を図り，下級生をリードしながら，高等部としての自覚を高めるとともに，責任感と温かい心を育てる。

○ 総合的な探究の時間

「見つけようわたしたちの楽しい時間」をテーマに，将来を見据えた余暇活動の充実にかかわる学習を行う。また，遠足や海・山の生活，修学旅行などの行事を，充実したものにつなげる課題を設定し，問題解決に向けて取り組む学習を行う。

○ 作業学習，校内実習，職場体験学習・産業現場等における実習

「農園芸・清掃」・「窯業」・「縫製」・「木工」の各班にわかれて作業学習を行う。校内実習では，就労先での勤務により近い形で作業の形態や時間帯を設定し，指導を行う。1・2年生は，夏休みに1週間程度，後期に1週間の職場体験実習を行い，3年生は各事業所等で，前期と後期に各2週間の現場実習を行う。